

## 株式会社 木曽路

高負荷な人事業務をシステム連携により自動化、年間5000時間以上の工数削減へ  
SmartHRを起点とした業務プロセス改善で人事担当者の作業やリードタイムを大幅に短縮

株式会社木曽路は、しゃぶしゃぶの「木曽路」をはじめ、焼肉店、居酒屋など各種飲食店ブランドを展開する外食企業。全国に約150店舗を有する同社では、顧客の「食」に対するニーズに応えるべく、経営・調理・接客の能力向上を目指している。そうした取り組みの一環として、店舗スタッフなど従業員の入社処理やシフト登録などの人事業務の負荷軽減と、関連手続きに要する業務時間の短縮を目指し、統合人事システム、シフト管理を担うTimeAssetという既存の両システムに加え、労務管理システムであるSmartHRを新たに導入。これらシステム間を「ASTERIA Warp Core」を活用して連携する仕組みを構築。旧来の紙ベースの業務プロセスを自動化し、大幅な工数削減とリードタイムの短縮を実現している。

## 導入背景

- 入社にかかわる処理は紙のやり取りをベースに行われており、人事部担当者によるシステムへの作業の負担、処理の完了に要する入力リードタイムが課題に
- 随時発生する従業員の身上変更届の作成、人事部担当者によるシステム上での情報更新作業が、店舗、人事部双方にとって大きな負担となっていた
- 店舗あたり約50名のスタッフから希望シフトを回収、システムへ手作業で入力しシフト調整を行う店長の業務負荷が非常に高かった

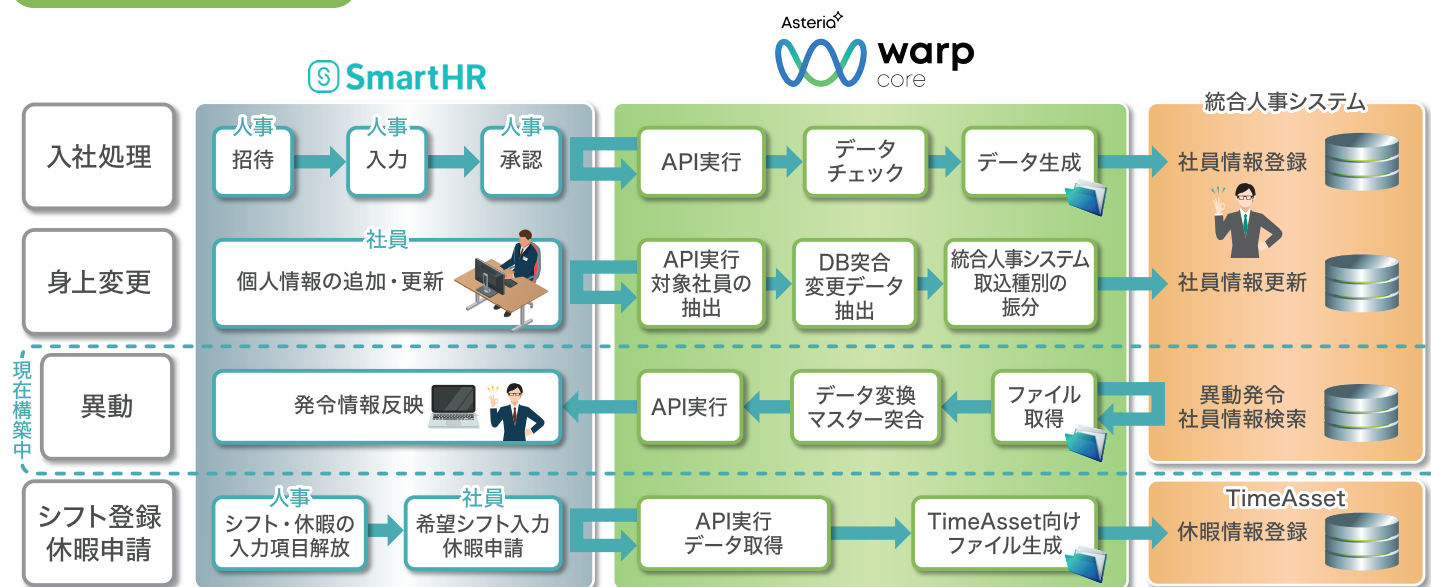
## 選定ポイント

- 人事業務領域のシステム間連携ツールとしても豊富な実績があり、大きな安心感があった
- 人事システムの関連データの抽出や加工が簡便に行えるマッパー機能など、連携フローを素早く構築するための各種コンポーネントが充実
- クラウド、オンプレミスといったインフラ環境を問わず、連携ニーズを柔軟に満たせる点が、クラウドネイティブな連携ツールなどに比べて大きなアドバンテージ

## 効果

- SmartHRに入力された情報が統合人事システムに自動連携。従来2時間かかった人事部での作業が30分程度に短縮され、リードタイムも5日から1日に短期化。身上変更についても同様の自動化を実現
- 希望シフトや休暇申請をSmartHRに入力し、TimeAssetへと自動連携する仕組みを実現。店長のシフト管理業務の負荷を大きく軽減
- 人事関連作業の自動化により、年間5000時間以上の工数削減が見込まれ、そこで生じた余剰時間を、より高付加価値な業務に投入できる体制が整った

## システム概要



## ユーザーのひと言



今回、当社では5カ月のシステム構築プロジェクトで34本の連携フローを開発。多大な工数を要していた人事関連業務を自動化できました。特に店舗業務の効率化は、早くシフトに入りたいといったスタッフのニーズを満たし、人材不足の解消にも貢献しています。近く当社では、グループ企業の焼肉チェーン「大將軍」を木曽路に完全統合する予定ですが、それに伴うシステム統合の局面も含めて、今後もASTERIA Warp Coreの活用が当社システムの可能性を大きく広げてくれるものと期待しています。

株式会社 木曽路 森畑 様  
佐藤 様  
NICS 高橋 様

## User Profile



社 名：株式会社 木曽路  
所 在 地：愛知県名古屋市中区白金3-18-13  
会 社 概 要：しゃぶしゃぶの「木曽路」をはじめ、焼肉店、居酒屋など各種飲食店ブランドで全国に約150店舗を展開している  
業 種：製造業・小売業  
U R L：https://www.kisoji.co.jp/